

データ構造とアルゴリズム論・同演習ガイダンス

・今年度の実習指導員

石川高行 (y03502) 子 暁軍 (y03504) 齊藤貴之 (y03507)
下野祐典 (y03508) 西尾敬介 (y03514)

()内はユーザIDです。

各指導員のメールアドレスは「y03XXX@edu.sgu.ac.jp」です。

・実習教育補助員

今野沙織、宮平可奈子、服部準平、三浦喜弘、清野瞳、宮森大輔、岸雄修敬、石田志保、
和泉志穂、佐久間玲奈、麻生玲子、高倉剛、牧野有恵、徳川堅正、中條貴彰

・講義・演習の到達目標

- プログラミングで最も重要なことは、ある(要求された)処理を実現するアルゴリズムを考案することです。本講義・演習では代表的なアルゴリズムやデータ構造の解説、さらにはそれらを応用する演習を繰り返しながら、「いいアルゴリズムとは何か」、さらに「そのアルゴリズムに合ったデータ構造とはどのようなものか」という課題について、基礎的な知識と経験を身につける事を目標とします(講義時にもう少し解説を加えます)。

・講義・実習の進め方

最初の30分ほどを使って、その週に学習する内容を講義形式で説明します。

その後、演習課題をまとめた配布プリントに従って、演習(設問への解答やプログラム作成等)を各自行います。

演習の進め方は前期のプログラミングと同様です。皆の指導には、指導員と(本学部の先輩学生からなる)補助員が当たります。目安として学生10名あたりに1名の補助員、30名あたりに1名の指導員が付きまます。したがって、約30名の学生を「指導員1名+補助員3名」が担当する事になります。担当配置等は、末尾の「座席番号表」および「D201座席配置」、「D202座席配置」を参照して下さい。

演習課題としては、原則として【基礎課題】と【応用課題】を用意します。課題を完了したら担当の補助員(場合によっては指導員)のチェックを受けてください。チェックを受けなければ課題を提出した事になりません。

指導員や補助員は座席配置によって割り当てます。そのため、演習中は指定した座席に座ってください。

毎週講義開始時に、担当指導員宛に以下の要領で出席メールを送信してください。そ

の記録で出席を管理します。ただし、講義開始後 30 分以上経過した後のメールは、出席とはみなしません。

<出席メール>

宛先：担当指導員のメールアドレス 件名：出席メール 本文： 月 日 学院太郎出席しました
--

講義時に使用したスライドや、テストのアナウンス等を、ホームページに掲載します。学習に活用して下さい。 <http://ext-web.edu.sgu.ac.jp/HIKO/Algo03>
その他、講義・演習に関する質問や要望があれば、演習中に遠慮なく森田まで申し出て下さい。講義時間以外は、研究室（C-514）まで来てくれれば対応します。

・成績評価

単位取得の必須条件

出席率が7割以上であること、および指定された期日までに【基礎課題】を全て提出することが必須条件です。【基礎課題】については1題でも欠けると単位の取得はできません。また、講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみましますので注意して下さい。

欠席回数が5回に達すると出席率が7割未満になります。

成績評価

2回のテスト（11/4 および 12/9 に実施予定）を実施します。その得点と提出した応用課題数で（以下の通り）評価します。

成績 = テスト得点 + 提出した応用課題数

《注意》

上の「成績」が50点未満の場合は単位を取得することはできません。

講義中に、理解度確認のための小テストを行う場合がありますが、これは成績には関係しません。

・その他

本講義・演習では、その週に出された課題はその週内に終わらせなければ学習に支障が出てきます。その意味で、前期の「プログラミング」以上に、毎回出席して課題に取り組む姿勢が必要になります。